

## 紫波町の皆さんへ

柴波町PPP（公民連携）シンポジウムが岩手県柴波町主催で行われ、その講演を東洋大学大学院のサム田淵客員教授が行ったようでありませんが、サム田淵氏の話には落とし穴がありますので、しっかりと町議会で検討が必要かと思われれます。東洋大学の不正を糾弾している幾つかの文章を御送りしますが、よく調査をされた方がよいと思われれます。

サム田淵氏が柴波町で提案されている話は本人がフロリダで実践しようとした計画と全く同じ構想の様ですが、彼はその事業に大失敗し関係者に関係者に大負債を抱えさせ本人も事業放棄して逃げ帰ってきた（追放？）ような状況のようですよ。

田淵教授はアメリカで公民連携の研究をしてきた。この仕組みはレーガン政権化で地方自治体の財政困難な状況の中で生れ、柴波町が成功すれば地方自治体再生のモデルになる、と藤原孝町長も力を入れているようであるが、我々ももしこれが計画通り実現すれば素晴らしいのは分かる。だが彼はこの構想で失敗している。よく読んで貰えば分かるが、全く同じ構想で、しかも本人は「自分の経験から出来るコンセプトだと思っている」と自信を覗かせているが、果たしてそうだろうか。

東洋大学の方では一部の理事の独断専行で正式な理事会を通してない、という話のようだが。それに普通過去に大きな失敗があれば遠慮というのが会ってもいいような気もするのだが、読者はどのような判断だろうか。まあ、この案に乗る乗らないは柴波町の町民の皆さんが決めることです。から、負託を受けた議員の皆さん、大事に至らないよう調査費を使ってしっかり調査してみてください。老婆心ながら御知らせ申し上げます。

平成十九年九月十四日

埼玉県戸田市喜沢一丁目二十八番の四十三